

## 福井市(福井市地域生活交通活性化会議)

フィーダー系統

平成25年6月28日NW計画策定

### ①協議会が目指す方向性(Plan)

#### ■地域の特性

- JR福井駅前バス乗場を中心に放射状の路線バスネットワークを形成。 ※鉄軌道は、JR北陸線、同越美北線、えちぜん鉄道、福井鉄道が南北・北東・南東方向に運行
- 区画整理等の都市基盤整備が市街化区域の約80%に達し、郊外の幹線道路沿線等において、商業・業務機能や医療機関、公共公益施設等の拡散立地が進展。
- クルマに過度に依存したライフスタイルが市民に浸透、定着。1世帯あたりの自家用車保有率は全国トップクラスで、高齢者(特に女性)の免許保有率も急激に上昇中。

#### ■福井市都市交通戦略※との整合性 ※平成21年2月策定 計画期間:概ね10年間

- JR福井駅を中心とする6方向の公共交通幹線軸と各地域の特性に応じた交通サービス(フィーダー路線等)との組合せによって、市内全域で利便性の高い公共交通ネットワークを構築することを基本目標としている。
- このうちフィーダー路線については、地域住民が主体的に運行計画の作成や利用促進等に取り組むことを基本としつつ、路線バス事業者の自主運行路線の計画変更等も含めて、地域に最も適した手法により、公共交通空白・不便地域の解消やサービス水準の向上を図ることとしている。

➤ **クルマがなくても安心して生活できる、コンパクトで持続可能な都市づくりの推進に寄与**

**ふくふく号(補)**

接続先:京福バス川西三国線

**鶉山バス**

接続先:京福バス川西三国線

**岡保地域コミュニティバス(補)**

接続先:京福バス大野線、  
済生会病院線

公共交通幹線軸と地域  
特性に応じたフィーダー  
系統との組合せ

6方向の  
公共交通幹線軸  
の強化

JR福井駅  
(中心市街地)

**酒生いきいきバス(補)**

接続先:京福バス大野線、  
済生会病院線  
バス車両(補)

合併地域を含む海岸地域に  
おいて、既存の市有バスを活用したスクール混乗便等を運行(非補助対象系統)

清水プラント3を拠点とするバス路線再編社会実験(H23.11~)

**殿下かじかポップー(補)**  
接続先:京福バス  
清水グリーンライン等

**清明循環線(補)**  
接続先:福井鉄道  
福浦線、京福バス  
清水山線等

**麻生津循環線(補)**  
接続先:福井鉄道福  
浦線、福武線(鉄道)

公共交通幹線軸と地域  
特性に応じたフィーダー  
系統との組合せ

**美山地域バス  
芦見ルート(補)**

接続先:京福バス大野線、  
JR越美北線

合併地域において、既存の市有バスを活用したスクール混乗便を運行(非補助対象系統)

0 2.5 5 10km

## ②地域公共交通に関する具体的取り組み及びそのプロセス(Do)

### ■平成25年度以前

事業名	概要	検討プロセス
地域コミュニティバス運行支援事業の改正 (平成25年4月施行)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域コミュニティバスの事業目的や利用実績等を踏まえ、『収支率算定式の見直し』、『デマンド型運行の基準新設』、『PDCAの具体的運用』を中心とする制度修正を実施</li> </ul>	24年5月～9月:市において基本的な考え方の整理 24年10月:地域生活交通活性化会議検討会で考え方を報告、協議 24年11月～2月:検討会での議論等を踏まえて制度の詳細設計 25年3月:地域生活交通活性化会議で報告・協議 現在運行中の地域の事業評価及び26年度の方向性(案)について報告 25年4月:制度運用開始

### ■平成26年度

事業名	概要	検討プロセス
岡保地域コミュニティバスの新設 (平成25年10月1日運行開始)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の北部と南部とでは生活圏域が異なり、北回り系統と南周り系統の2ルートを設定(隔日運行)</li> <li>日中、路線バスの空白時間帯を中心に、概ね35分～40分間隔と運行頻度を高め移動利便性の確保・向上を図る</li> </ul>	22年7月・9月:岡保地区住民有志による勉強会を開催 23年9月～:岡保地域コミュニティバス運行協議会を設置 月1回のペースで会議を開催し、運行構想案を検討 24年2月:地域住民への移動実態アンケート(第1回)を実施 10月:地域住民への移動実態アンケート(第2回)を実施 25年5月:運行事業者選定 6月:地域生活交通活性化会議に報告、NW計画に登載
ふくふく号のデマンド型への運行形態変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>定時定路線で運行するほどの移動ニーズはなかったが、効率的かつ継続的にバス交通サービスを提供していくため、デマンド型運行へ形態を変更</li> </ul>	24年12月:地元自治会長と協議 25年2月:地域住民への利用実態アンケートを実施 25年3月:関係者協議を開催 25年6月:地域生活交通活性化会議に報告、NW計画に登載
酒生いきいきバス新型車両購入 (平成25年11月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本格運行に移行することを受け、小型ノンステップバスを導入</li> </ul>	車令20年を超えるバスでの本格運行について、利用者の乗降時の安全性の確保や利便性の向上、環境負荷の低減を図る必要があることから小型ノンステップバスの導入に至った。

### ③地域公共交通に関する具体的取り組みに対する評価(Check)

#### ■NW計画に定める目標の達成状況

- 酒生いきいきバス、殿下かじかポッポーを除き、NW計画に定める数値目標は未達成も多い。岡保地域コミュニティバスの年間利用者数が特に低い。
- 公共交通空白地域の住民等に浸透・定着している面も見られるが、利用者数については足踏み状態となってきたものもある。
- フィーダー系統として、路線バスや鉄道への乗継利用のほか、地域住民同士のコミュニティの醸成も増えてきており、地域の高齢者達にとって不可欠な存在になってきているといった効果もある。

#### ●ふくふく号（鷹巣・棗線）

	目標値	実績値	評価	前年度
①年間利用者数	3,300人	2,639人	△	
②利用者1人あたり行政負担額	1,800円以下	2,140円	△	

#### ●岡保地域コミュニティバス

	目標値	実績値	評価	前年度
①年間利用者数	12,500人	6,216人	△	
②利用者の満足度	4以上	4.1	○	

※利用者アンケートにおける満足度（5点満点）

#### ●麻生津循環線

	目標値	実績値	評価	前年度
①年間利用者数	7,200人	6,190人	△	5,937
②乗継切符販売数	40枚/月	16枚/月	△	19

#### ●美山地域バス

	目標値	実績値	評価	前年度
①年間利用者数	570人	451人	△	
②利用者の満足度	4以上	3.5	△	

※利用者アンケートにおける満足度（5点満点）

#### ●酒生いきいきバス

	目標値	実績値	評価	前年度
①年間利用者数	8,100人	7,965人	○	7,407
②乗継利用の割合	40%	39.4%	○	35.7

※利用者アンケートにおける路線バスへの乗継の割合

#### ●殿下かじかポッポー

	目標値	実績値	評価	前年度
①利用者1人あたり行政負担額	1,200円前後	1,236円	○	1,313
②乗継利用の割合	20%	42.2%	◎	43.8

※利用者アンケートにおける路線バスへの乗継の割合

#### ●清明循環線

	目標値	実績値	評価	前年度
①年間利用者数	11,000人	11,666人	○	8,841
②乗継切符販売数	10枚/月	5枚/月	△	5

#### ④自己評価から得られた課題とその対応(Action)

- **デマンド運行バス等の相乗り利用の促進(ふくふく号、殿下かじかポッポー)**  
…効率的かつ合理的なデマンド運行を目指し、相乗り利用の促進を行う。
- **他の地域との交流による利用拡大(酒生いきいきバス)**  
…地域のイベント等を利用した隣接地域とのコミュニティバスでの交流により、地域外に対しても認知度を高めていく。
- **利用実態に即した運行形態の見直し(岡保地域コミュニティバス)**  
…利用者数の目標値を達成するまでには至っていない。ルートやダイヤの見直しを含め、利用状況によってはデマンド運行への移行も考慮する必要がある。
- **公共交通幹線軸と地域内フィーダー系統との連携強化(清明循環線、麻生津循環線)**  
…清明循環線、麻生津循環線と福井鉄道福武線の往復乗継切符の周知広報を強化していく。また、遅延運行時の乗継時間についてもできる限り調整を行う。
- **過疎地域における地域住民の足の確保(美山地域バス)**  
…小学生や高齢者の最低限の移動手段として継続して維持していく必要があり、乗り継ぎ情報の提供も併せて行う。

#### ⑤アピールポイント(特に工夫した点)

- **地域コミュニティバス運行支援事業実施要領に基づき、ふくふく号(鷹巣・棗線)を定時定路線からデマンド運行とした。その際に「清水プラント3を拠点とするバス路線再編社会実験」で得られた知見等から、相乗り割引制度を導入するなどデマンド化による運賃の割高感や利用者離れの抑制、相乗り効果による地域住民のコミュニティの醸成を図った。**
- **酒生の新型バスのお披露目会を地域内の3カ所でPR。低床型車両の乗りやすさ等を体験してもらうなど利用促進活動を行った。**